

子供たちへ多様な教育環境を用意する

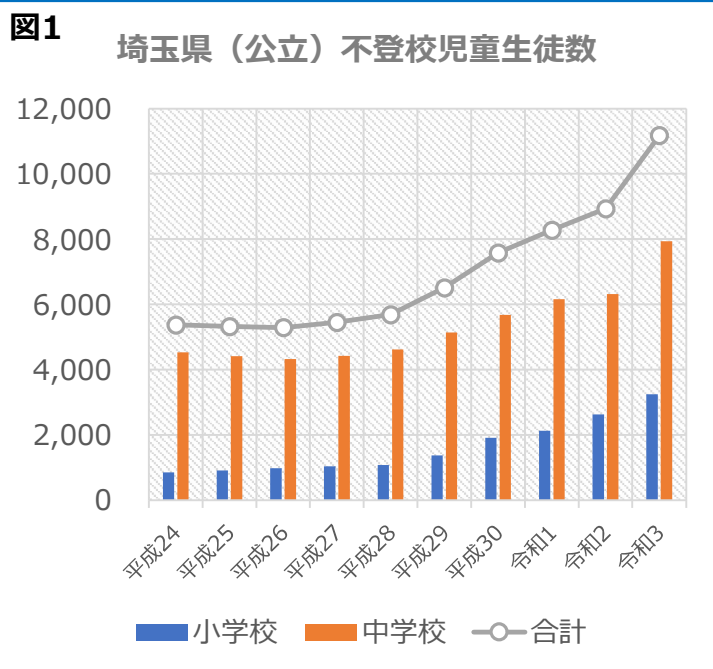
不登校の子供たちへの支援を

★昨年度**不登校の小中学生は全国で24万人**。埼玉県でも**1万1178人**の小中学生が学校に通えていない状況です。文部科学省が全都道府県・政令市への設置を**努力義務**としている**不登校特例校の設置**は急務です。

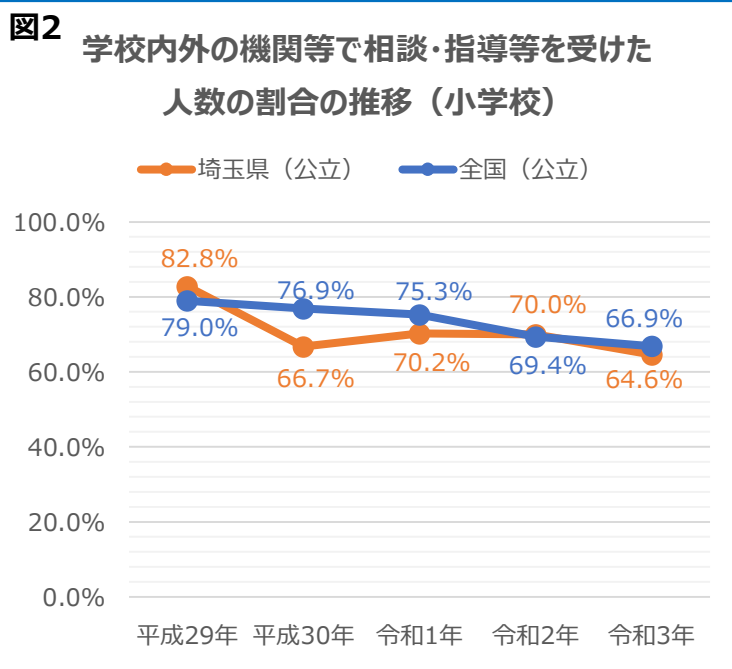
不登校特例校とは、学習指導要領にとらわれず、不登校児童の実態に配慮した特別なカリキュラムを持つ学校のこと。

★**不登校経験者**ならではの理解力を生かし、年齢の近い経験者による相談支援により、**孤立しがちな家庭をサポート**する体制をつくりま
す。(ピアサポート)

不登校児童の低年齢化が急速に進んでいます



埼玉県教育委員会ホームページより作図



埼玉県教育委員会ホームページより作図

図3 不登校の要因 区分別人数

区分	小学校	中学校	高等学校
いじめ	13	13	8
いじめを除く友人関係をめぐる問題	187	762	147
教職員との関係をめぐる問題	71	73	9
学業の不振	96	535	136
進路に係る不安	6	38	74
クラブ活動、部活動等への不適応	1	44	8
学校のきまり等をめぐる問題	12	38	31
入学、転編入学、進級時の不適応	47	276	278
家庭の生活環境の急激な変化	86	167	21
親子の関わり方	367	349	43
家庭内の不和	63	143	32
生活リズムの乱れ、あそび、非行	404	873	438
無気力、不安	1,738	4,332	946
上記に該当なし	153	291	193
合計	3,244	7,934	2,364

埼玉県教育委員会ホームページより作図

大野知事と意見交換いたしました

昨年12月大野知事と再就職支援について意見交換させていただきました。

